



三島学園報

NO. 13
2009.12

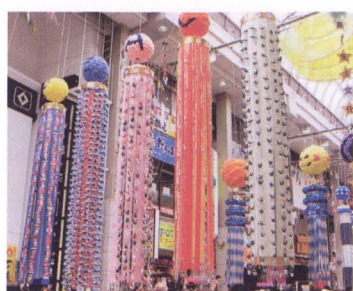


北アリゾナ大学国際交流

昨年、本大学と北アリゾナ大学は、①相互理解と親善、②文化的結束の強化、③研究開発における相互支援、④学生の視野拡大を目的とし、大学間交流協定を締結した。今年7月には、グロブスミス国際交流事務局長、(副教務部長兼務)と同副事務局長、チャールズ氏が来校し、浅尾学長、菅事務局長、大庭学部長、林学科長、佐藤学生部長が出迎えた。その際、交流の具体的展望について、双方から前向きな提案がなされ、「東北生活文化大学・北アリゾナ大学学生交流展」を平成22年3月、北アリゾナ大学ギャラリーにおいて開催することが決定した。



「エコと世界平和」の七夕飾り



昨年に引き続き、仙台七夕飾りに、高校JRCが中心となって参加した。「エコと世界平和」をテーマに吹き流し5個を製作。トイレットペーパーの芯、牛乳やジュースの紙パックと折り鶴を組み合わせたものや、アイスクリームのへらと鈴と音色棒を繋ぎ、目の見えない人にも音で楽しめるように工夫したもの、各国の国旗と人々が手を繋ぎ平和への願いを込めたものなどハピナ名掛丁商店街のアーケードを飾り「佳作」の栄誉を得た。留学生を始め多くのボランティアや、大正園や七夕の店鳴海の店主の方々にもご協力をいただいた。

さまざまなメディアでも数回紹介され話題となり、「エコdeスマイルコンテストinみやぎ2009」にも応募し受賞は逃したが、概要はホームページ上で一般公開された。

多目的デザインホールの新設工事11月完成(教室及び多目的ホールとして使用)

特色教育の充実と生徒数の増加に伴い教育環境整備の一環として、C棟(1階食堂、2階室、進路室)に隣接する場所に多目的デザインホールを新設することになった。

新築工事は平成21年7月7日から始まり11月20日に完成し、引き渡しが行われた。12月4日に落成式が予定されている。

多目的デザインホールは建設面積が351.62㎡、地上2階の鉄骨造りになっている。1階は多目的ホールとして「作品展示」、「講義室」、「会議室」、「ミニ集会」等に使用する。2階は生徒増に伴い既存の特別教室を普通教室として使用するため将来、普通教室の不足が予測されるので新たに3教室を増設した。



杜の都のアート展、イベント参加

11月3日、杜の都のアート展が定禅寺通りで開催され、大学生生活美術学科の教員及び学生の14名が、去年に引き続きアートイベント「1年後の自分へ」を企画・実施した。このイベントは学生が絵を描いた手作りの絵葉書の中から来場者が気に入った1枚を選び、1年後の自分へメッセージを書いてもらうというもの。葉書は1年後に学生スタッフが切手を貼り、投函する。当日は最高気温が10℃を下回る肌寒い1日であったが、150人を超える参加者があった。



動物公園に壁画設置

八木山動物公園南門付近に建設中のビジターセンターの仮設フェンスに、本大学生、高校生の原画による動物をモチーフとした壁画が設置された。同公園の「写生まつり」に毎年ボランティアとして協力している大学生生活美術学科へ依頼があったもので、高校の美術コースも含め約150点にのぼる在校生の作品の中から、ホッキョクグマやライオンなど人気の動物が描かれた8点を選ばれた。仮設ということもあり、掲出期間は来年3月までとなるが、個性豊かな動物達が、来園者の目を楽しませている。



前理事長・学長の池上雄作先生が 秋の叙勲の栄に浴されました

11月3日、平成21年度 秋の叙勲に際し、池上雄作前理事長、前大学・短期大学部学長が瑞宝中綬章を受章なさいました。東北大学における50有余年にわたる教育研究のご功績に加え、私学振興にも尽くされた業績に対し、叙勲の栄に浴されたものであります。誠にありがとうございます。



【御祝のメッセージ】

理事長 浅尾豊信

前理事長・学長 東北大学名誉教授 池上雄作先生は本年秋の叙勲に際し、栄えある瑞寶中綬章を受賞されました。私ども一同、心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

池上雄作先生は東北大学理学部をご卒業、東北大学非水溶液化学研究所に勤められ、教授、研究所長を歴任、化学における教育研究に大きな業績を挙げられるとともに、財団法人日本化学研究会理事長を今日まで務められるなど、わが国の化学の分野で多大の寄与をされて参りました。

さらに学校法人三島学園関係者の強い要請を受けて、平成12年7月より19年3月まで、東北生活文化大学・三島学園女子短期大学の学長に就任、続いて平成13年10月より20年6月まで三島学園理事長に就任して学園の改革、経営改善に尽力され、財政健全化をはかって学園の発展に大きく貢献されました。

改革の一部をご紹介しますと、高校の男女共学化と校名変更、大学に家政学(後に服飾文化)・健康栄養学専攻の設置、短大の共学化と校名変更および生活学・子ども生活専攻の設置、ますみ保育園の設置、子育て・家庭支援センターの開設等を挙げる事ができます。

また、私立学校法改正に伴う寄附行為の改正を手始めに、これまで極めて不十分であった大学・短大・高校を含む学園全体の膨大な規程の制定に殆ど単独で取組まれ、これを完成させたことも学園にとっては大きな功績であります。この規程の整備により、第

三者機関による認証評価(平成19年の大学・平成21年の短大)をスムーズに進めることができました。

現在もお本学園相談役として学園の改善・発展にご尽力いただいております。

また、学外においては私学協会の監事や理事等の要職を務められ、私学の地位向上・発展にも尽力されました。

今後ともご健勝にて一層のご活躍をされますよう心より祈念しております。

三島学園 同窓会長 鈴木 裕

池上雄作先生には、この度、永年の功績が実を結び、叙勲の栄に輝き誠にめでたく会員一同心よりお慶び申し上げます。

長らく東北大学にてご活躍され、平成13年10月に三島学園理事長・学長にご就任なされてからは、高校名の改称、男女共学の導入、諸コースの設置を始め、短大に於いても男女共学化、短大卒の保育士の認可、さらに大学には文部科学省・厚生労働省から管理栄養士養成施設の認可を得て、健康栄養学専攻の設置。ますみ幼稚園には保育園の併設等、その改革は目を見張るばかりでございました。常に長たる者の責任は重く苦悩に満ちた日々であったと拝察いたします。

今、回想する入学式や卒業式のご挨拶のキーワードとして「基礎をしっかりと学び、地道に努力、蓄積し創造する」、「青年の息吹をもってあたれ」は強く胸に残っております。これらの先生の人生訓を私達の座右の銘と心に刻み、この栄えある叙勲は同窓生の誇りとして後世に伝えたいと存じます。

III 学校法人 三島学園

子育て・家庭支援センター のびのび



のびのびくらぶ 活動報告

● 第10回 <朝ごはんのミラクルパワー>

第10回公開講座が平成21年7月11日(土)、80周年記念棟において、親子50名の参加を得て実施された。講師として明治乳業(株)管理栄養士の夏井昌子氏を招き、「子どもは朝ごはんがとても大切であること」についてクイズを交えながら親子にわかりやすく講話があった。その後、不思議実験「バターづくり」を行い、「いただきます」は他の命をいただくことという話を聞きながら、クッキーにつくったバターをつけておいしくいただいた。

● 第11回 <シルクスクリーンで手型・足型Tシャツをつくらう>

第11回公開講座が平成21年10月10日(土)、大学2号館2階版画工房において、親子41名の参加、大学生生活美術学科講師大堀恵子先生のご指導のもと、賑やかに開催された。

今しかできないお子さんの手型・足型を、版画(型)の基本的機能のひとつでもある同じものが複数作れるシルクスクリーンという技法をつかって、Tシャツ・ハンカチ・トートバックと色々な布や木にプリントをした。出来上がった作品は世界にひとつのオリジナル。刷りあがった瞬間、お父さんお母さんの歓声があがり、笑顔で講座が終了となった。



のびのびくらぶ これからの予定 (平日の午前中のプログラム)

- | | |
|--|--|
| ● 開催計画: 毎週月・水・金曜日
午前10時から12時30分 | 12月9日(水) すてきなクリスマス会 (申込開始 11月24日) |
| ● 内 容: 支援センターを中心に学園内を開放します。
センター内でおこさまと遊んだり、季節の草花を探しながら散歩をしていただけます。 | 1月27日(水) ボカボカ春がやってくる(豆まき) (申込開始 1月12日) |
| | 2月24日(水) たのしいひな祭り! (申込開始 2月9日) |
| | 3月10日(水) おたのしみ会 (申込開始 2月23日) |

センターでは、専任の保育士がみなさんをお待ちしております。子育てに関することなど、一緒に考えていきましょう。

● 申込・問い合わせ先 子育て・家庭支援センター事務局 TEL.022-272-7511

小児糖尿病サマーキャンプにボランティアとして参加

この夏、8月18日～20日に「蔵王自然の家」で行われた「第9回宮城県小児糖尿病サマーキャンプ」は、宮城県内の糖尿病の子どもたちが同じ場所に集まって友情を育み、病気に対する正しい理解を深めることを目的としている。健康栄養学専攻がこの活動にかかわって5年目になり、今年も4年生5名がスタッフとして参加した。

「バランスのよい食事の大切さ」をわかりやすく説明する学生スタッフの熱意が、子どもたちにも伝わった様子である。

健康栄養学専攻では、毎年秋には「栄養まつり」に参加するなど、地域社会に貢献するさまざまな取り組みを行っている。



イメージシンボルキャラクター最優秀賞受賞

(本学の大槻香苗さんの作品がイメージシンボルキャラクターに決定!)

デザインの総合的イベント「せんだいデザインウィーク2009」平成21年12月11日(金)～16日(水)が開催される。それに先立ち、イメージシンボルキャラクターの公募と審査(8月7日)が行われた。宮城県内外の学生の力作が集まる中、本学生生活美術学科2年大槻香苗さんが最優秀賞に選ばれ、また同じく3年の大場志穂さんが審査員賞を受賞した。



第3回パソコンスピード王は君だ!

平成21年10月3日(土)高校第2・3コンピューター室を会場として「第3回パソコンスピード王は君だ!」が開催された。中学生にパソコンスピード認定試験を体験してもらい、商業教育への理解を深めることと、中学生に資格取得の機会を与えることを目的として、今年で3回目となった。今年は宮城県内の中学校が34校、中学生が70名参加し大変盛り上がった大会となった。成績が優秀な学校には学校賞を、個人にも賞状と賞品を授与した。



第14回全国私立高等学校選抜バドミントン大会

平成21年8月26日(水)～29日(土)神奈川県平塚市総合体育館において、高校男子バドミントン部が創部7年目で初めて全国大会に出場することができた。ほとんどが初心者ということもあり、予選リーグは惨敗したものの、一戦毎に内容はよくなった。生徒たちはスピード・パワー・集中力など全国レベルのプレーを肌で感じ、貴重な体験ができた。この経験が必ずこれからの試合に活かされることだろう。



第10回中学生美術コンクール

10月12日に予定していた第10回中学生美術コンクール受賞式は、大変残念でしたが、インフルエンザ感染予防の都合上中止となった。今年は出品中学校51校、出品総数322点と例年になく沢山の応募作品が寄せられ、その中から寺岡中学校3年生の秋保春菜さんが最優秀賞を受賞した。学校賞として向陽台中学校、沖野中学校、田子中学校が選ばれた。



中学生イラストマンガコンクール

2009中学生イラストマンガコンクールは今年で3年目となる。今年度は東京の日本電子専門学校アニメーション学科の先生方が来校し審査が行われた。今回は各部門テーマを設けた。イラスト部門は「夏」、4コママンガ部門は「school life」。今回の作品の傾向は、テーマが夏ということでも明るい雰囲気の商品が多くさわやかなイメージをうけた。どの作品もレベルが高く審査は長時間にわたり行われた。審査の結果、イラスト部門の最優秀賞には幸町中学校3年生の大浦理歩さん。4コママンガ部門の最優秀賞には将監中学校3年生の熊谷涼子さんが決定した。授賞式は9月19日(土)PM2:00から高校視聴覚室にて開催。審査当日は、授賞式のほか、上位入賞作品のスライド講評などを行った。※入賞者の作品を本校エントランスホールへ9月19日から展示。Webには優秀賞まで掲載

■出品情報: 参加校数92校、イラスト部門351作品、4コママンガ部門27作品



学生・生徒の活躍

大学

- 生活美術学科
 - SENDAI DESIGN WEEK 2009 イメージシンボルキャラクター
 - 【最優秀賞】大槻香苗(生活美術学科2年)
 - 【平岡賞】大場志穂(生活美術学科3年)

- 第2回 NBCシルクスクリン版画ビエンナーレ展
- 【入選】山上 恭子(生活美術学科4年)
- 大見川梨乃(生活美術学科3年)
- 二瓶 知美(生活美術学科2年)

- 第24回 静岡市国民文化祭(はがき版画展)
- 【佳作】山上恭子(生活美術学科4年)
- 平 聡美(生活美術学科2年)
- 二瓶知美(生活美術学科2年)

高校

- 少林寺拳法部
 - 第58回 宮城県高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技
 - 総合【第3位】 男子団体演武【第2位】
 - 男子自由組演武2段以上の部【第3位】
 - 第62回 宮城県民体育大会2009 少林寺拳法演武大会
 - 高校男子初段の部優良【第3位】
 - 東北高等学校少林寺拳法大会
 - 男子団体組演武【第4位】
 - 男子自由組演武初段の部【第5位】
 - 男子自由組演武2段の部【第6位】
 - 宮城県高等学校新人大会少林寺拳法競技
 - 男子規定組演武の部【第3位】
 - 男子規定単独演武の部【第2位】
 - 男子規定自由演武の部【第3位】
 - 仙台市武道祭り少林寺拳法大会
 - 高校男子初段の部【第1位】
 - 【最優秀賞】普通科2-7本宮悠斗、普通科2-7嶺岸和貴

- 硬式野球部
 - 宮城県高等学校野球連盟
 - 【功労賞】普通科3-7加藤麻衣子
- 男子ソフトボール部
 - 第18回 仙台市高等学校
 - 男子ソフトボール選手権大会
 - 【第2位】【優秀賞】商業科1-1熊谷順哉
- 女子ソフトボール部
 - 第14回 若あゆ杯争奪東北高等学校
 - 女子選抜ソフトボール大会
 - 【第2位】【敢闘賞】普通科2-8三塚風峯
- 第47回 宮城県高等学校ワープロ競技大会
- 団体【第3位】 個人【第3位】商業科3-1我妻彩加
- 第9回みちのくオープン大会
- ダブルス団体【第3位】

- 第33回 全国高等学校総合文化祭 美術工芸展
- 【文化連盟賞】普通科2-10今野大地
- 第47回 宮城県高等学校
- 演劇コンクール泉宮城野地区大会
- 【優秀賞】普通科2-7首藤 怜
- 第27回 泉黒川地区高等学校美術展
- 【美術部会長賞・特別賞】普通科3-9笠原七恵
- 【優秀賞・特別賞】普通科3-9佐藤麻衣子、庄子理恵、清 瑞奈
- 【優秀賞】普通科3-9荒木 悟、今野麻衣、庄子 遥、普通科2-10大宮愛未、加藤由華、栗山真琴、普通科1-9飯本 英佳、森ゆうき
- 第9回 全国高等学校ファッションデザイン選手権大会
- 【入賞】普通科3-9廣部里菜、普通科1-10堀 裕樹
- 高校生の税に関する作文
- 【仙台国税局長賞】普通科3-9山田 玲

出合うという事【大学生生活美術学科長】林 範親

三島学園にお世話になって、はや、31年が過ぎようとしている。赴任当時、学園では一番若い教員だったようである。

浜松から仙台へ、千葉県生まれの私にとって、雪解けのぬかるみと、強風、砂埃りと寒さが第一印象として強く残っている。

その年の6月、宮城県沖地震が発生。東海大地震が話題となっていた静岡県から来た私は、地震を連れて来たと言われたものである。先づ、強烈な出会いであった。

三島学園女子大学家政学部生活美術学科に1年前に招聘の話があったのだが、当時、家具デザイナーとして勤務していた会社をすぐ辞める事が出来ず、待ってもらった経緯があった。決心させたのは、当時、学科長であった村上善男先生との出会いであった。

今にして思えば、生活美術学科には、日本の美術界、工芸界、評論界に必ず名前が出てくるような錚々たる顔ぶれがそろっていた。

橋本八百二先生、安倍郁二副学長、宮城輝夫先生、深澤紅子先生、針生乾馬先生、そして前述の村上善男先生、更にその先生方と交遊のあった様々な人たちとの出会い、直接お会いして御教示、御指導いただいた人達だけでもあげればきりが無い。素晴らしい出会いがあった。直接お会いする事は無かったが、美学の六波羅久男先生、西洋美術史の森口多里先生、日本画の莊司福先生、彫刻の翁朝盛先生といった方々も当学科で指導にあ

たられていたのである。

来年は生活美術学科創設45年にあたるが、女子大学から男女共学となり東北生活文化大学となってからでも23年を迎える。

その間、様々な出来事や出会いが、又別れがあったのであるが、学科にとっても、私にとっても、ここ数年の大きな出会いは、アートな職人育成プログラムの採択と実施だろう。

3年前、当時の池上雄作理事長、学長の号令により、文部科学省の社会人の学び直しニーズ対応教育プログラムの公募に応募し採択されたものである。この応募にあたっては、当時赴任して間もない、残念な事に現在は他大学に移られてしまった杉林英彦先生の力が大きい。

このプログラムは生活美術学科でなければ出来ない性格と内容をもっている。宮城の名工会の職人の方々、平成20年度14名、平成21年度13名の受講生、シンポジウムやワークショップ、特別講義や現場見学での様々な人達との出会いと、物づくりとの出会いは学科の将来を方向づけるような物となった。社会的にも新聞、テレビ等のメディアに度々とりあげられ、大きな話題となった。

今、生活美術学科では、コース制の採用、その先の学部・大学院構想と将来に向け検討を重ねている。

人との出会い、物や物事との出会いがその人の歴史を作り出す。大学も同様、どれだけ出会いを造り出せるかでその価値が決まってくるのではないだろうか。

大学 森 敏美 教授
台湾での国際美術展に参加して

2009年亞太國際藝術創作展(Top of the World : Asia Art Link Exhibition, 2009)に参加。平成21年8月24日より9月4日の間、台北東側にある宜蘭市礁溪群六結村に於いて十カ国約40人の作家によるアートレジデンス(滞在型作品制作)を行い、持参した作品を台北101と言う超高層ビルの最上階展望台で国際美術展が行われた。直前に台湾を襲った台風被害に対するチャリティー展も提案し同時に実行された。



短大 藤本このみ 副手
東北現代工芸美術展 入賞

一第35回東北現代工芸美術展(河北新報社、宮城県文化振興財団、現代工芸美術家協会東北会主催)にて入賞一

現在、短大副手を務めている藤本このみさん(東北生活文化大学高等学校卒)は、平成19年度に大学生生活美術学科を卒業後も、大学時から取り組んでいた染織によるアイヌ文様をテーマにした創作活動を続けている。今回、東北現代工芸美術展において東北現代工芸賞を受賞した作品では、アイヌ文様を自分なりに解釈し、麻を使ったシンプルな色使いを心がけたという。「indication」という題には、制作の過程で感じる事ができた今後の方向性(微候)という意味が込められている。今後の活躍も期待したい。



高校野球部 創部3年目でBEST16

今年の高校野球選手権宮城大会では、初戦の対岩ヶ崎高校戦は6対1、2試合目の対巨理高校戦では10対6で勝利した。4回戦の対利府高校では4対7で敗戦したが、創部3年目にしてBEST16という結果を納めることができた。



宮崎久先生・相澤静子先生
産業教育功労者として表彰

11月6日生文大高教頭宮崎久先生と同校非常勤講師の相澤静子先生が、(財)産業教育振興中央会から平成21年度産業教育功労者として表彰された。

この表彰は、産業教育に顕著な功労のあった勤続満30年以上の国・公・私立の教職員等を表彰するために設けられた、昭和15年以來実施されている名誉ある表彰である。

宮崎先生は商業科の教員として、相澤先生は家庭科の教員として永年にわたり産業教育振興の活動に尽力されたことが認められ表彰を受けられた。



本校生徒と米国ダラス市の中高生との
国際交流会が盛況に終る!

一日本と米国の互いの文化を知り、国際平和に大きく貢献!一

仙台市と友好都市関係を結ぶ米国テキサス州ダラス市の中学、高校生10名が、8月6日(木)に高校を訪問した。日本の伝統文化や学校の施設を見学し、生徒との交流を通して楽しい一日を過ごした。当日に向けて家政部が米国旗「星条旗」や日本と米国の小旗、ランチョンマットを制作した。さらに、浴衣(帯や下駄など一式)、箸、手作り箸入れ、箸置き等も準備し、楽しい時間を送ってもらう工夫を凝らした。その他にも生徒会、弓道部、剣道部、少林寺拳法部、美術コースの生徒が部活動の紹介やレセプションに参加した。終了後には、交流会で使用したグッズのほかにヒーリングアートの作品を全員にプレゼントし、盛大な交流会となった。





大学祭

今年の大学祭は「舞—OVER THE COLORS—」をテーマに、10月24、25日に開催された。両日も晴天に恵まれ、同時開催のオープンキャンパスとあわせて、多くの方に来場いただいた。

毎年恒例のファッションショー、生活美術学科コンクール、短大子ども生活専攻のファンタジーランド、お笑いライブ、後援会特別企画(写真・絵画展示、尺八演奏など)をはじめ多くの企画が開催され、大いに好評を博した。



生文祭

今年の高専文化祭は、「生文祭'09夢限大☆～夢の大きさは限らない!～」というテーマの下、9月5日(土)6日(日)に開催された。各部による発表、各クラスなどによる模擬店の他、毎年恒例となった保護者の方々の協力のもとで行われるチャリティーバザーや「PTAの部屋」、虹の丘や双葉ヶ丘町内の方々の参加による「町内会の部屋」など、それぞれ趣向を凝らした発表が行われ、多くの来場者で賑わった。



第33回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸展

平成21年7月29日(水)～8月2日(日)の5日間、三重県津市の三重県立美術館において第33回全国高等学校総合文化祭美術・工芸展が開かれた。本校の美術コース2年生の今野大地君が今年1月に開催された宮城県高等学校美術展において立体造形で優秀賞を受賞し全国代表に選出された。三重県立美術館では全国から集まった高校生たちとの交流会が開かれ、全国のレベルの高い作品を目の当たりにし多くの刺激を受けて帰ってきた。

また、交流会の席では秋篠宮様御夫妻と眞子様が訪問され作品を見て頂いた。今野大地君の今後のさらなる活躍に目が離せない。



◎平成22年度 入試日程

【東北生活文化大学】

入試区分		エントリー期間	面談日
A O入試	服飾文化専攻	I期	平成21年 8月 3日(月)～8月21日(金) 平成21年 8月29日(土)
		II期	平成21年 9月 7日(月)～9月25日(金) 平成21年 10月 3日(土)
	生活美術学科	I期	平成21年 7月 1日(水)～7月27日(月) 平成21年 8月 1日(土)
		II期	平成21年 8月11日(火)～8月31日(月) 平成21年 9月 5日(土)
入試区分		出願期間	試験日
学校推薦入試		平成21年10月28日(水)～11月 9日(月)	平成21年 11月14日(土)
自己推薦入試	服飾文化専攻	平成21年11月20日(金)～11月30日(月)	平成21年 12月 5日(土)
	生活美術学科	平成21年10月28日(水)～11月 9日(月)	平成21年 11月14日(土)
一般入試A日程		平成22年 1月13日(水)～1月26日(火)	平成22年 2月 3日(水)
一般入試B日程		平成22年 2月15日(月)～2月26日(金)	平成22年 3月 4日(木)
社会人入学者特別選抜試験		平成22年 1月26日(火)～2月15日(月)	平成22年 2月20日(土)
私費外国人留学生特別選抜試験(服飾文化専攻・生活美術学科)		平成22年 1月15日(金)～1月29日(金)	平成22年 2月20日(土)
※編入学試験(服飾文化専攻・生活美術学科)		平成21年10月30日(金)～11月11日(水)	平成21年 11月26日(木)

◎資料請求・問い合わせ先：入試課(TEL.022-272-7521)
※編入学試験：教務課(TEL.022-272-7513)

【東北生活文化大学短期大学部】

入試区分		エントリー期間	面談日
A O入試	I期	平成21年 8月 3日(月)～8月21日(金)	平成21年 8月29日(土)
	II期	平成21年 9月 7日(月)～9月25日(金)	平成21年10月3日(土)または4日(日)
入試区分		出願期間	試験日
学校推薦入試		平成21年10月28日(水)～11月 9日(月)	平成21年 11月14日(土)
自己推薦入試		平成21年11月20日(金)～11月30日(月)	平成21年 12月 5日(土)
一般入試A日程		平成22年 1月13日(水)～1月26日(火)	平成22年 2月 4日(木)
一般入試B日程		平成22年 2月15日(月)～2月26日(金)	平成22年 3月 4日(木)
社会人入学者特別選抜試験		平成22年 1月26日(火)～2月15日(月)	平成22年 2月20日(土)
私費外国人特別選抜試験(生活学専攻)		平成22年 1月15日(金)～1月29日(金)	平成22年 2月20日(土)

◎資料請求・問い合わせ先：入試課(TEL.022-272-7521)

【東北生活文化大学高等学校】

種別	出願期間	試験日
特待生(学・美術・スポーツ)推薦入試 一般推薦入試 美術推薦入試 自己推薦入試(美術コース希望者を含む)	平成22年1月 4日(月)～1月12日(火)	平成22年1月14日(木)
一般入試 専願入試	平成22年1月 4日(月)～1月22日(金)	平成22年2月 3日(水)

◎資料請求・問い合わせ先：入試広報室(TEL.022-272-7522)

【ますみ幼稚園】

願書配布	願書受付
平成21年10月1日(木)～	平成21年11月2日(月)～

◎資料請求・問い合わせ先：ますみ幼稚園(TEL.022-225-5020)

【ますみ保育園】

◎資料請求・問い合わせ先：ますみ保育園(TEL.022-227-7080)

近況報告

東北生活文化大学

家政学科

6月27日、7月25日、8月9日のオープンキャンパスでは、服飾文化専攻による「染めるっておもしろい」、健康栄養学専攻による「食生活チェック&健康チェック」「管理栄養士の仕事」の各講座が開講され、多数の高校生が参加して好評を得た。

服飾文化専攻2年生は、9月8日～11日、家政特別講義「研修旅行」(関東方面)を実施。被服学分野に関わる、最新技術の工場や伝統的な工房の見学、流通販売現場の観察、その他博物館・美術館等の見学を行った。「澤乃井欄かんざし美術館」「株式会社ホットマン」「草倉庫 山口産業株式会社」をはじめとする研修先では、大変熱心な説明を受けることができた。健康栄養学専攻2年生は9月26日に、宮城県南部地域にある工場等(白石温麺)を見学する「施設研修」を行った。麺打ちなどの体験を通し、管理栄養士としての知識や能力を向上させることを目指し、地域特性を生かした食の生産・流通について研修した。



生活美術学科

新型インフルエンザの流行のため延期となっていた、生活美術学科一年次研修旅行が8月11～12日、そして二年次の京都研修旅行は9月8～12日に行われ、無事終了した。8月31日には、東北生活文化大学と宇都宮文星芸術大学との学生交流展が、中本誠司現代美術館で開催された。

また、宮城県芸術協会絵画展において、本学教授の森敏美先生が、最高賞である宮城県芸術祭賞を受賞した。その他にも、たくさんの学生の活動・活躍の報を聞いている。

東北生活文化大学短期大学部

短期大学部は今年が第三者評価を受ける年にあたり、資料の作成や訪問調査への対応など忙しい夏であった。それに先立ち、その参考資料のひとつである自己評価報告書(第4号)が発行されたので、短大のここ数年の動きに興味のある方は参照されたい。また大学祭においては、生活学専攻では学年を越えて協力しあった結果、作品展を開催することができた。子ども生活専攻1年生はファンタジーランドや三島レンジャーの劇などの開催を通じて団結を深めた。今後の学外での活躍が楽しみである。

東北生活文化大学高等学校

校名変更と男女共学となって7年に入った。生徒、卒業生の活躍や先生方の献身的な教育実践が評価され、新年度の生徒総数は1,176名と総定数の1,170名を上回ることができた。

このことは生徒の全国大会出場や地域での活躍、卒業生の国際大会でのメダル獲得、また生徒や教職員による「虹の丘&みずほ台夏祭り」、「仙台七夕まつり」、「アートで屋台」、「国際交流」などの話

題となって現れている。その中で特に二人の卒業生の国際大会で活躍した様子を紹介する。平成16年度卒業した柳川奈美子さん(高網短大卒、日立グループ会社勤務)が、2009デフリンピックバレーボール大会に日本代表として出場した。柳川さんは幼少時から高度難聴者というハンディを乗り越えて、小、中、高、短大、実業団でバレーボールを続けている。昨年の世界大会では銀メダル。今年のデフリンピック(台湾台北市)では柳川さんの活躍もあり銅メダルに輝いた。

さらには、平成21年度大学女子ソフトボール日本代表に選抜された石田奈々さん(平成17年度卒業、東北福祉大学4年、豊田織機内定)は、日本選抜の捕手として大活躍し、国際大会(台湾高雄市)で日本は優勝、金メダルの獲得に貢献した。また石田さんを含む生文大高女子ソフトボール部出身の卒業生5名が所属する東北福祉大学が、第44回全日本女子ソフトボール選手権大会で見事全国優勝した。このような卒業生の活躍が在校生や教職員の名誉と励みになっている。

ますみ幼稚園

2学期が始まり、新入、転入園児を5名迎え96名でのスタートとなった。10月には、心配された雨も降ることなく、第55回運動会が開催された。年長組の力強い、元気いっぱいの組体操、年中組のSomeDayの曲に合わせたパルーン、年少組の3歳児らしい動きのある旗体操など保護者の皆様からたくさんの拍手や声援をうけ大成功の中、運動会を終えることができた。その中でも今年度の保育目標でもある「友達と力を合わせることの素晴らしさ」や「最後まで頑張ることの大切さ」を運動遊びや運動会の行事を通し、子ども達に伝えることができたように感じる。

そして、今、クリスマス発表会に向け、子ども達はオペレッタや遊戯の練習に励んでいる。子ども達が心から楽しめるクリスマス発表会を目指して…。



ますみ保育園

10月10日(土)にますみ保育園の運動会を実施した。

前々日まで、非常に強い台風18号が接近し、職員はじめ保護者もはらはらどきどきしながら当日を迎えた運動会だった。4月から年齢に応じた運動遊びにとりくみ、保育方針である「丈夫で体力のある子ども」をめざしてきた。子ども達は保護者が見守る中、応援に応えるかのように、生き生きと、元気いっぱいリズムやかけっこを披露し、4月からの取り組みの成果を十分に発揮してくれた。

運動会は、親子のふれあいの場があったり、子どもの成長を共に喜んだり、地域の方が一緒に楽しんだりこの行事ならではのよさがある。保護者から、「友達と一緒に演じる姿や頑張る姿に感激しました」との感想が多く聞かれた。

運動会をとおして、子ども達の成長を具体的に伝えることができたこと、そして保護者とその成長を認め合うことができた、嬉しい一日であった。



人事異動について

■新規採用者

大学【事務職員】荒 伸二(入試課長)(9月1日付け)

高校【事務職員】廣瀬 豊(会計課)(8月1日付け)

■異動(8月1日付け)

【事務職員】菊池千鶴子(会計課から総務課へ)

【事務職員】高橋 絹枝(総務課から高校事務室へ)

■退職者(8月31日付け)

大学【助手】瀬戸由布子

大学【事務職員】横山 實(入試課長)

高校【事務職員】門間よう子(高校事務室)

理事会の 主たる 議題

臨時理事会

■平成21年7月22日(金)(記念棟2階会議室)

- 未来型経営戦略推進経費に係る「経営改善計画書」の提出について
- ますみ幼稚園の園則及び減免規則の改正について
- 人事異動(8月1日付)について ○学校別ロゴマークの制定について

理事会

■平成21年10月10日(土)(記念棟2階会議室)

- 学園の将来計画について ○規程類の改正・制定について
- 東北生活文化大学生涯学習センターの設置及びアートな職人プログラムの継続について

誌上
ギャラリー



「わたしのかお」

幼稚園3歳児クラス 片桐 優香 (かたぎり ゆうか)

幼稚園に入園して制作した初めての作品。楽しいこと、うれしいことがいっぱい
のますみ幼稚園での生活を「わたしのかお」で表現した。幼稚園だ〜い好き!!

【表紙写真】

表紙の写真は、顕彰館横の創立者三島両先生の胸像に並んで建っている「光栄記念の碑」である。この碑は、次の二つの光栄を記念するため、昭和3年10月に創立25周年を期して当時の清水小路校地内に建立されたもので、学園の虹の丘移転と共に現在地に移された。

- ・明治41年4月に、当時の皇太子殿下(後の大正天皇)が、東北地方を巡幸された際宮城県下の中等学校生徒の成績品をご覧になり、その中から本校(当時は東北女子職業学校)生徒製作の袋物三点をお持ち帰りになられたこと。
- ・大正14年10月に、当時の摂政殿下(後の昭和天皇)が、宮城県行啓の際、本校に侍従を差遣され、本校より生徒作品を献上申し上げたこと。

学校法人 三島学園 学園報 第13号 平成21年12月発行 三島学園広報委員会編集

学校法人 三島学園 〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1-18 TEL.022-272-7511(代) FAX.022-2727516
[URL] <http://www.mishima.ac.jp> [E-mail] hojin@mishima.ac.jp



この印刷物は適切に育まれた
森から生まれたFSC認証紙と
環境にやさしいベジタブルイ
ンキを使用しています。

印刷/笹氣出版印刷株式会社